

和暦	西暦	月日	事項	*関連事項
明治	29年	1896 11.02	東京神田・青柳亭で東京氷上郷友会の発会式。 初代会長に織田信親子爵、副会長に田健治郎氏	
	30年	1897 04	*兵庫県立柏原尋常中学校創立	
	34年	1901 02	「氷上郷友会」と改称して組織変更、東京を本部とし、 大阪郷友会を合併して大阪支部(支部長・田艇吉氏)に、新たに 京都支部(支部長・津田要氏)、神戸支部(支部長・野添宗三氏)を創設	
	35年	1902 04	*旧制柏原高等女学校発足	
		04.02	柏原崇広小学校で氷上郷友会の創立総会。東京本部・大阪・京都・神戸 支部のほか地元で氷上支部(支部長・宍戸秀策氏)を新設	
		05.17	東京上野公園・無極亭で東京本部第一四回例会。 尋常中学校優等卒業者に賞状並びに賞品贈呈	
		11.22	上野・無極亭で東京本部第15回例会	
	36年	1903 05.15	上野・無極亭で第16回例会。	
	37年	1904 02	日露戦争が勃発、この影響により40年まで郷友会の例会も下火に	
	40年	1907 05.15	田健治郎氏の玉川別邸で第19回例会	
		11.17	上野・無極亭で第20回例会	
	44年	1911 12.03	田氏・玉川別邸で第21回例会	
	大正	10年	1921 11.27	田氏・玉川別邸で大正3年以来初の例会 第二代会長に田健治郎氏が就任、会則を改正
昭和	05	1930	田健治郎氏没。その後昭和10年代まで会長は空席	
	06	1931	*松柏会東京支部発足。太平洋戦争中は例会を中断	
	09	1934 11.27	神田・学士会館で例会、34名出席	
	10	1935 10.22	九段・軍人会館で氷上郷友会と柏中会の聯合大会(柏中会創設の年度不詳)。35名出席 近畿の郷友会は東京本部から分離・独立 織田信大子爵、第三代会長に就任 その後、安藤広太郎氏、第四代会長に就任 太平洋戦争中は例会も中断	
	28	1953 01.28	戦後初の氷上郷友会総会を新橋駅・日本食堂で開催。来会者100余名。 石橋治郎八氏が第五代会長に就任。以後春秋2回の例会	
	30	1955	*柏陵同窓会東京支部発足。松柏会東京支部再開	
	40	1965 11.2	東洋経済クラブ会議室で総会、36名出席	
	41	1966 06.30	『山ざる』創刊。題字は石橋会長揮毫	
	44	1969 05.11	浜離宮で春の懇親会、47名出席 11.09 後楽園・酒徳亭で秋の懇親会、48名出席	
	45	1970 11.01	『山ざる』第2号、表紙に常岡文亀画 11.29 秋の総会を兼ね横浜中華街へバス旅行	
	46	1971 04	氷上ゴルフ同好会発足 第一回コンペ開催 05.16 浜離宮で春の総会 41名出席 06 氷上碁会発足、赤坂囲碁倶楽部で第一回碁会 11.07 王子・名主の滝公園で秋の総会 石橋会長逝去に伴い第六代会長に足立三治氏、名誉会長に有田喜一氏を選任	
	47	1972 01.31	『山ざる』第3号発行、以後毎年発行に 05.21 深川・清澄庭園で春の懇親会、50名出席 11.11 東京丸ノ内・山水楼で総会、会費年額千円(従来五百円)に 総会后、有田名誉会長の国務大臣企画庁長官就任の祝賀会	
	48	1973 11.07	中央区勤労福祉会館で総会、25名出席	
	50	1975 11.11	原宿・東郷記念館で総会、30名出席	
	51	1976 11.12	原宿・東郷記念館で総会、80歳以上の長寿者12名に対し、初めての祝寿。 以後毎年80歳の方に祝寿を行う	
	52	1978 11.17	原宿・東郷記念館で総会、40名出席	
	54	1979 11.23	ABCホールで総会、50名出席。氷上郡町村会長より足立三治会長に感謝状	
	55	1980 11.03	本会顧問・小谷正雄博士に文化勲章 11.16 ダイヤモンドホールで総会、41名出席	
	56	1981 11.15	市ヶ谷・番町共済会館で総会、足立三治会長引退により伴仲信次氏が第七代会長に	
	57	1982 11.12	浅草・麦とろで総会、足立前会長に感謝状 10 *松柏会東京支部を解散して柏陵同窓会東京支部に合併	
	58	1983 11.05	大手町・竹橋会館で総会	
	59	1984 11.11	九段会館で関東氷上郷友会創立88周年の記念総会・祝賀会、 来賓・郷友ら250名が出席	
	60	1985 11.02	私学会館で総会、71名出席	
	61	1986 11.08	九段会館で総会、98名出席	

